

高齢者の靴に反射材を貼って交通事故を防止

～愛知県警察本部などと合同で交通安全啓発活動を実施～

日本損害保険協会中部支部(委員長:中西 貴志・損害保険ジャパン株式会社 執行役員)では、12月21日(水)に名古屋市千種区の覚王山日泰寺の境内において、愛知県警察本部、千種警察署、千種区役所と合同で、反射材の活用を呼びかける交通安全啓発活動を行いました。

愛知県内の交通事故による死者数は、12月13日現在で130人(前年同期比+20人)と増加しており、そのうち65歳以上の高齢者は61人で、約半数を占めています。

そこで、覚王山日泰寺の縁日に訪れる高齢者に、反射材付きチラシを手渡し、希望者にはその場で靴などに反射材を貼り、事故への注意を呼びかけました。靴に反射材を貼り終えた方からは、「暗い時間に歩くのは不安があったが、これで安心して出掛けられる」などのコメントがありました。

当支部では、今後も愛知県警察本部等と連携して高齢者を中心とした交通事故防止に取り組んでいきます。



反射材を貼り付ける様子

外出時は 反射材

外出するときは、明るい目立つ色の服を用い、反射材を付けましょう。

歩行者・自転車は！

夕暮れ時や夜間に注意！

身を守るには**安全確認**と**反射材**

高齢者(65歳以上)の歩行中死者の多くが夕暮れ時と夜間に交通事故に遭っています。

時間帯	歩行者の歩行中死者数	自転車利用者の歩行中死者数
夜間(18時～21時)	18人	12人
夕暮れ時(17時～18時)	15人	10人
昼間(12時～17時)	5人	3人

反射材は交通事故防止に有効です。

車のライトが当たると、ドライバーが歩行者を捉えやすくなります。歩行者も歩行者の安全確認を怠らぬよう、歩行者同士も歩行者の安全確認を怠らぬよう、自分の安全もドライバーにアピールしましょう。

愛知県警察 日本損害保険協会中部支部

愛知県警察からのお知らせ

歩行者の方へ

歩行者の交通事故死者の多くが歩行者自身に発生！
歩行者自身、車の走行、歩行者自身に発生！
歩行者自身も歩行者自身に発生！

横断歩道渡り時

今言え

手をあげたり、目を向けるなどして、運転手も歩行者も明確に伝えましょう。

今回して

歩行者の歩行者自身死者(平成26年～令和3年) 総数108人

歩行者自身に発生 63.7% (69人)

歩行者自身以外の発生 44.3% (48人)

歩行者自身に発生 63.7% (69人)

歩行者自身以外の発生 44.3% (48人)

状況も確認

歩行者自身に発生 63.7% (69人)

歩行者自身以外の発生 44.3% (48人)

注意を心がけ

「あいちの心」で渡りましょう

自転車利用者の方へ

自転車事故による死者の7割がヘルメットによるもので、ヘルメットを着用しましょう！
ヘルメットがあなたの命を守ります！

自転車死者の自転車利用死者(平成26年～令和3年) 総数43人

ヘルメット着用 72.7% (31人)

ヘルメット未着用 27.3% (12人)

ヘルメット着用 72.7% (31人)

ヘルメット未着用 27.3% (12人)

自転車安全利用五則

(令和4年11月1日現在)

- 1 車道が狭い、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先
- 2 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- 3 夜間はライトを点灯
- 4 飲酒運転は禁止
- 5 ヘルメットを着用

自転車事故の死者のうち、7割に法令違反があります。交通ルールを守りましょう！

反射材普及啓発チラシ